

## 埼玉県環境白書の刊行にあたって



近年、気象災害の激甚化・頻発化の原因ともされる地球温暖化のほか、海洋プラスチックごみ問題、生物多様性の危機など、地球規模で解決しなければならない数多くの環境問題が顕在化しています。

また、ウクライナ情勢の悪化などによるエネルギー・原材料価格の高騰も続いており、一層の省エネルギー化や再生エネルギー活用の重要性が再認識されています。

本県に目を向けると、今後、75歳以上の高齢者人口が全国で最も速いスピードで増加する見込みであるなど、かつて人類が経験したことのない超少子高齢化の課題に直面しています。

このような状況の下、県では、「埼玉版SDGs」を掲げ、環境・経済・社会課題の同時解決を目指し、「誰一人取り残さない、持続可能な発展・成長をする埼玉づくり」を推進しております。

そこで、超少子高齢社会やエネルギー等の諸課題に対応した持続可能なまちづくりを目指す「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」や、サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラスチック資源の循環的利用などに、民間企業や市町村と共に取り組んでおります。

また、身近な地域環境の保全を図るため、大気・河川の監視や緑の創出などに引き続き取り組み、埼玉の貴重な自然環境を次世代に引き継いでまいります。

この「埼玉県環境白書」は、本県の環境の状況と環境の保全や創造に関する施策の進捗状況を取りまとめたものです。この白書をきっかけに、県民の皆様が環境問題に対する理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

令和4年12月

**埼玉県知事 大野元裕**